

全国大学史資料協議会

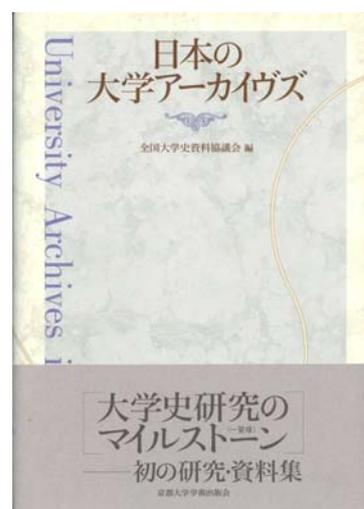
全国大学史資料協議会は、「大学史に関する情報交換と研究、並びに会員相互の質的向上と交流をはかること」を目的に1996年4月に設立されました。当時、東日本を中心とする機関・個人会員で構成されていた東日本大学史連絡協議会（1988年～）と西日本を中心とする機関・個人会員で構成されていた西日本大学史担当者会（1990年～）の二つの組織がありましたが、それらがゆるやかな連合体として合同結成されたものです。2009年8月現在、同協議会には、東日本部会と西日本部会を合わせて97機関（大半が私立大学アーカイブズ組織）および36個人が加入しており、愛知医科大学大学文書室も2009年度に機関会員として入会しました。



左の図は、同協議会のシンボルマークです。アーカイブズを意味する「A」と、それを取り囲む大学史資料の「収集・保存」「公開・活用」「研究」の各活動を意味する三つの惑星が表現されたものとなっています。同協議会では、「大学の歴史は個別大学史の枠にとどまるものではなく、他大学や社会との関連を視野に入れて編纂されるべきであり、大学に蓄積された資料は、大学文書館や大学資料館といった常設機関で整理・保存され、広く社会に公開・利用されるべきである」との考えに基づき、年一回の総会・全国研究会の開催をはじめとして年間を通じて研究会や講演会などの部会活動を行っています。そうした諸活動による成果の一端は、日本における大学アーカイブズを取り上げた最初の書籍といわれる同協議会編『日本の大学アーカイブズ』（京都大学学術出版会、2005年）として公刊されています。



全国大学史資料協議会の主な刊行物（同協議会パンフより）



編集：愛知医科大学 大学文書室

〒480-1195 愛知県愛知郡長久手町大字岩作字雁又 21

電話 0561(62)3311(代) 内線1265 / FAX 0561(62)4662 / Email: archives@aichi-med-u.ac.jp